

表 日本発スタートアップによるベトナムにおけるカーボンクレジット創出の取り組み

日本企業名	プロジェクト概要
グリーンカーボン (東京都港区)	2023年6月、ベトナム国家農業大学と水田由来のメタンガスを削減するための共同研究を開始。実証実験を経て、2024年1月からはベトナム北中部のゲアン省内の約6万ヘクタールの水田圃場（ほじょう）でメタンガス削減プロジェクトを進める。同年4月には南部メコンデルタ地域のアンザン省でのプロジェクト実施に向け、ベトナム南部の国立カントー大学と共同研究に関するMOUを締結。同年5月、同プロジェクトに関して、地場農業大手のロクチョイグループ、スマート農業技術を有するダイタンともMOUを締結（ 2024年10月21日付地域分析レポート参照 ）。
サグリ (兵庫県丹波市)	2023年9月、同社がベトナム南部で実施中のカーボンクレジット創出事業等での協業を目的にベトナム南部の国立カントー大学とMOUを締結（ 2023年9月27日付サグリ社プレスリリース参照 ）。2024年8月より、農協向け会計・営農ソフトを販売しているソリマチベトナム社、カントー大学と連携のもと、ベトナム南部の稲作地域において衛星データとAIを活用した間断灌漑（AWD）による2国間クレジット（Joint Crediting Mechanism: JCM）（注）の創出実証の実証を開始（ 2024年9月5日付同社プレスリリース参照 ）。2024年12月には、出光興産、地場 Lasuco 社と北中部タインホア省において、サトウキビ畑由来のカーボンクレジット創出プロジェクトの共同実施を合意。2026年の事業化へ向けて、2025年より実証を開始する（ 2024年12月3日付同社プレスリリース ）。
フェイガー (東京都港区)	2023年12月1日、FPTとベトナムのグリーン農業推進に関する覚書を締結した。FPTがベトナム国内のエコシステム形成を担い、フェイガーがJCMも活用した財源確保や計画手法を提案する（ 2024年3月8日記事参照 ）。
カーボンイーエックス (東京都港区)	2024年2月15日、ベトナム民間IT最大手のFPTと戦略的パートナーシップに関する覚書を締結した。FPTとの提携により、同社のプラットフォームを通じたカーボンクレジットの創出と販売、ベトナム市場でのカーボンクレジットの取引支援を進めていく（ 2024年3月8日記事参照 ）。

（注）JCMは、相手国との企業間連携を通じ、日本の優れた低炭素技術の新興国などへの普及や地球規模でのGHG削減に貢献するもの。削減分は日本のGHG削減目標の達成に活用可能。

（出所）[2024年3月8日付ビジネス短信](#)、[2024年10月21日付地域分析レポート](#)、サグリ社プレスリリースに基づき作成